令和４年度社会福祉法人見附市社会福祉協議会事業報告

【会務の運営】

１. 正副会長会（開催場所：見附市保健福祉センター）

⑴　第１回正副会長会（５月 16 日月曜日）

①　令和３年度社会福祉法人見附市社会福祉協議会事業報告及び決算について

②　第１回理事会及び定時評議員会の開催について

⑵　第２回正副会長会（３月８日水曜日）

①　第５回理事会及び第２回臨時評議員会の開催について

２. 監事会（開催場所：見附市保健福祉センター）

⑴　監事会（５月 23 日月曜日）

①　令和３年度社会福祉法人見附市社会福祉協議会事業報告及び決算について

３. 理事会（開催場所：見附市保健福祉センター）

⑴　第１回理事会（６月 10 日金曜日）

①　令和３年度社会福祉法人見附市社会福祉協議会事業報告及び決算の承認について

②　定時評議員会の招集について

③　職務執行状況の報告について

⑵　第２回理事会（８月 25 日木曜日）

①　見附市立保育園民営化に係る移管先法人募集に対する対応について

②　生活支援員に関する就業規則の一部を改正する規則の制定について

③　地域活動支援センターあじさい運営規定の一部を改正する規定の制定について

④　虐待防止対応規程の制定について

⑤　虐待防止委員会設置規程の制定について

⑥　職務執行状況の報告について

⑶　第３回理事会（12 月 12 日月曜日）

①　臨時評議員会の招集について

②　理事候補者の選定について

③　職務執行状況の報告について

⑷　第４回理事会（12 月 20 火曜日）

①　副会長の選定について

⑸　第５回理事会（３月 17 日金曜日）

①　令和４年度社会福祉法人見附市社会福祉協議会第１次資金収支補正予算について

②　令和５年度社会福祉法人見附市社会福祉協議会事業計画及び資金収支予算について

③　第２回臨時評議員会の招集について

④　社会福祉法人見附市社会福祉協議会定款の一部を改正する定款の制定について

⑤　役員等の報酬に関する規程の制定について

⑥　訪問介護事業運営規程を廃止する規程の制定について

⑦　訪問型サービス（介護予防訪問介護相当サービス）運営規程を廃止する規程の制定について

⑧　訪問型サービスＡ（緩和した基準によるサービス）運営規程を廃止する規程の制定について

⑨　指定居宅介護等運営規程を廃止する規程の制定について

⑩　移動支援事業運営規程を廃止する規程の制定について

⑪　生活サポート事業運営規程を廃止する規程の制定について

⑫　在宅支援サービス運営規程を廃止する規程の制定について

⑬　役員賠償責任保険の加入について

⑭　職務執行状況の報告について

4. 評議員会（開催場所：見附市保健福祉センター）

⑴　第１回定時評議員会（６月 23 日木曜日）

①　令和３年度社会福祉法人見附市社会福祉協議会事業報告及び決算の承認について

⑵　第１回臨時評議員会（12 月 20 日火曜日）

①　理事の選任について

⑶　第２回臨時評議員会（３月 24 日金曜日）

①　令和４年度社会福祉法人見附市社会福祉協議会第１次資金収支補正予算について

②　令和５年度社会福祉法人見附市社会福祉協議会事業計画及び資金収支予算について

③　社会福祉法人見附市社会福祉協議会定款の一部を改正する定款の制定について

④　役員等の報酬に関する規程の制定について

【事業実績】

1．広報・啓発（事業使用額　258,605 円）

社協だよりの年５回の発行（発行日：６月 17 日、８月５日、10 月７日、12 月２日、３月 17 日）およびホームページを通じて地域福祉に対する広報活動に努めました。

2．地域福祉活動支援

⑴　地域福祉活動支援事業（事業使用額　4,523,682 円）

①　ふれあいいきいきサロン事業

自宅に閉じこもりがちな高齢の方や地域内で孤立しがちな障がいをお持ちの方や子育て中の方をはじめ、様々な住民同士が身近なところでつながりあえる場としてサロン事業の展開に努めました。

○開催状況

	令和４年度	令和３年度	令和２年度
開催回数	1,288 回	1,154 回	976 回
参加者数	13,076 名	11,812 名	8,765 名

○令和４年度各地区開催状況

地区	団体数	開催回数	延べ参加者数	サロン名
今町町部地区	1	15 回	335 名	ふれあいいきいきサロン（15 回）
今町田園地区	2	30 回	445 名	ふれあいいきいきサロン（11 回）、水曜会(19 回)
葛 巻 地 区	16	163 回	1,841 名	葛巻健康サロン（32 回）、輪投げクラブ（22 回）、PC カフェ（22 回）、葛巻鶴寿会（16 回）、手話の会(15 回)、鶴寿会寿カフェ（10 回）、みんなのお茶の間（10 回）、くず和カフェ（8 回）、傍所町さくら会（7 回）、親水クラブふれあいサロン（6 回）、宝寿会（5 回）、柳和会婦人部（4 回）、傍所町歴史探究会（2 回）、親子サークルのびのび(2 回)、いきいき健康サロン(1 回)、子育てサークルもりりん（1 回）
新 潟 地 区	1	110 回	850 名	地域の茶の間・ほっとサロン（110 回）
北谷南部地区	4	106 回	1,389 名	地域のお茶の間（74 回）、ムラのえんがわ（11 回）、田井のいこい（11 回）、椿澤の茶の間（10 回）

北谷北部地区	5	26 回	342 名	カーネーションサークル（11 回）、フレンド（10 回）、緑友会（２回）、レクダンス（２回）、くさなぎふれあいサロン（１回）
庄川平地区	2	112 回	876 名	ひまわりクラブ(27 回)、卓球バレーの会（23 回）、庄川いきいきサロン踊りの会（22 回）、サロン石地っ子（21 回）、庄川いきいきサロンおとな女子会ことり（17 回）、庄川いきいきサロン（２回）
見附第二小校区	1	19 回	252 名	ほりみぞつどいの会(10 回)、やすらぎサロン（９回）
見附町部東地区	3	219 回	2,212 名	将棋くらぶ(86 回)、レコードの会(24 回)、南友会（24 回）、手芸カフェ(22 回)、健康麻雀の会(17 回)、まちなかシルバー団らん室（12 回）、抹茶を楽しむ会（12 回）、新町シルバー団らん室（12 回）、南本町２丁目ふれあいの場（６回）、体験教室（２回）、元町１丁目の集い（１回）、元気会（１回）
見附町部西地区	13	308 回	2,505 名	本所親和会（220 回）、本所２丁目盆踊り愛好会（16 回）、昭和町１丁目３区花づくり同好会（15 回）、本所２丁目喜楽会（13 回）、つくし会（10 回）、本所２丁目シニアカフェ（9 回）、学校町おしゃべりタイム(9 回)、戸代新田町（7 回）、本所１丁目子ども会（3 回）、西コミ倶楽部（3 回）、本所１丁目町内会(1 回)、学校町１丁目４区(1 回)、昭和会（1 回）
上北谷地区	7	180 回	2,029 名	盛老会（68 回）、ひまわり（45 回）、本明桑の木会（24 回）、ふれあい有志の会（12 回）、鶴嶺会（11 回）、宮之原町明和会（11 回）、連の会（９回）

② 見守り事業

地域で安心して暮らせるまちづくりを目的に、地域住民が主体となって取り組む高齢者、障がい者等の見守り活動へ助成を行います。なお、令和４年度の申請はありませんでした。

○実施状況

	令和４年度	令和３年度	令和２年度
コミュニティ	０か所	１か所	１か所

③ 地域課題解決事業

地域における課題に対して、地域住民が主体となって解決に取り組むコミュニティ活動へ助成を行います。なお、令和４年度の申請はありませんでした。

○実施状況

	令和４年度	令和３年度	令和２年度
コミュニティ	０か所	１か所	０か所

④　地域交流事業

歳末時期において、住民同士のつながりづくり等を目的に、地域住民が地域や世代、障がいの有無に関わりなく、誰もが地域の一員として参加できる活動やイベント等に取り組むコミュニティに対して助成を行いました。

○開催状況

	令和４年度	令和３年度	令和２年度
コミュニティ	７か所	５か所	４か所
参 加 者 数	606 名	515 名	477 名

○令和４年度各地区開催状況

地区	開催回数	参加者数	事業名
今町町部地区	１回	60 名	世代間交流ボウリング大会
今町田園地区	３回	50 名	地域交流事業（講座・交流会）
葛 巻 地 区	１回	205 名	イルミネーション点灯式
北谷南部地区	１回	150 名	冬のイベント
庄 川 平 地 区	１回	50 名	冬のお楽しみ会
上北谷地区	１回	47 名	ふれあいボウリング大会 2022
見附第二小校区	１回	44 名	里山　光のページェント大作戦

３．地域福祉サービス

⑴　在宅介護者の集い開催（事業使用額　０円）　※　新型コロナウイルス感染症の影響で中止

在宅で家族の介護をされている方を対象に、日頃の介護疲れを癒していただき、また介護者同士の交流を図っていただくことを目的に、在宅介護者の集いを開催しています。

令和４年度も令和３年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い中止としました。

対象者
要介護１以上の認定を受けている高齢者の介護者
身体障害者手帳所持者でその障害の程度が１・２級の方の介護者
療育手帳所持者でその障害の程度がＡの方の介護者

○開催状況

	令和４年度	令和３年度	令和２年度
参 加 者 数	中止	中止	中止

⑵　プライベートサービス事業（事業使用額　120,000 円）

視覚に障がいをお持ちの方への情報提供サービスとして、音声訳ボランティア「見附音声訳朋の会」、点訳ボランティア「めぐみ会・見附点クラブ」の方々の協力により事業を実施しました。

音声訳ＣＤについては、「広報見附」、「社協だより」、「見附新聞」等を中心に、点字翻訳については、「広報見附」を中心に提供しました。

○利用状況

	令和４年度	令和３年度	令和２年度
音声訳 CD 利用者	９名	９名	８名
点字翻訳利用者	１名	１名	１名

⑶　小型リフト付バス貸出事業（事業使用額　226,674 円）

車椅子を使われている方や自立での歩行が難しい方のうち、普通車両での移動が難しい方に対し、病院への通院、施設からの一時帰宅、家族との外出などにおいて、小型リフト付バスの貸出を行いました。

○貸出状況

	令和４年度	令和３年度	令和２年度
延べ登録者数	114 名	105 名	99 名
稼 働 回 数	63 回	77 回	75 回

⑷　福祉用具等の貸出

日常生活支援や福祉体験学習での活用を目的に、福祉用具などの貸出を行いました。

○貸出状況

	令和４年度	令和３年度	令和２年度
車　椅　子	23 回	18 回	20 回
CD ラジカセ	３名	３名	３名
白　　杖	なし	なし	なし
アイマスク	１回	なし	なし
高齢者疑似体験教材	１回	なし	１回

⑸　除雪機貸出事業

自力で除雪作業が困難な高齢者世帯、障害者世帯等に対して、無償で除雪作業を行う地域の支援者に対して除雪機の貸出を行いました。

○貸出件数

	令和４年度	令和３年度	令和２年度
貸 出 件 数	なし	なし	なし

⑹　要援護世帯除雪費助成事業（事業使用額　283,368 円）

年齢や世帯的な状況により、自己の労力及び経済力の両面から自力での除雪が難しい高齢者世帯、障害者世帯、母子世帯等を対象に、１冬期間２回まで１回１万円を上限とし、除雪に要した費用の一部を助成しました。（※　いずれの世帯も収入・課税制限あり）

○助成状況

	令和４年度	令和３年度	令和２年度
助 成 件 数	22 件	17 件	76 件
助 成 金 額	211,471 円	162,300 円	745,600 円

⑺　児童遊具設置修理助成事業（事業使用額　921,652 円）

各町内で管理運営を行う児童遊園地における遊具の新設・修繕等に関して、町内の申請に基づき必要経費の８割を補助しました。（補助金額上限あり：新設 25 万円、修繕 15 万円、ペンキ３万円）

○補助状況

	令和４年度	令和３年度	令和２年度
新 設 町 内	３町内 助成額　750,000 円	２町内 助成額　500,000 円	３町内 助成額　671,000 円
修 繕 町 内	１町内 助成額　150,000 円	５町内 助成額　377,000 円	なし
ペンキ支給町内	１町内 助成額　12,000 円	４町内 助成額　36,000 円	なし

⑻　社会福祉普及校指定事業（事業使用額　633,110 円）

福祉に対する意識を深め、「福祉のまちづくり」の素地づくりを目的に、市内の小・中学校ならびに特別支援学校を社会福祉普及校に指定し、各校の社会福祉の学習や実践等に対し、支援を行いました。

◯令和４年度指定校

中　学　校	見附中学校・南中学校・西中学校
小　学　校	見附小学校・名木野小学校・新潟小学校・葛巻小学校 田井小学校・見附第二小学校・今町小学校・上北谷小学校
特別支援学校	見附特別支援学校

◯各校の取り組み

見附中学校	ユニバーサルデザインに基づく学校環境の整備による福祉教育の充実
南中学校	地域における高齢者や児童との交流活動、地域貢献活動
西中学校	青少年ボランティアバンク活動、募金活動、植栽活動
見附小学校	全校花いっぱい活動、学校行事における地域の方との交流
名木野小学校	環境美化活動、青少年ボランティアバンク活動
新潟小学校	学校内外の環境美化活動や植栽活動、募金活動、地域の方との交流活動
葛巻小学校	地域と連携した社会福祉活動、募金活動、環境美化活動
田井小学校	地域の方との交流活動、緑化活動、緑の少年団活動、図書室の整備
見附第二小学校	リサイクル活動の実施、緑化活動、地域の方との交流活動
今町小学校	互いの良さや頑張りを認め合う「ぽかぽかの木作戦」の実施、総合学習
上北谷小学校	学校行事や地域行事での地域の方との交流、環境美化活動
見附特別支援学校	地域でのボランティア活動（清掃活動、募金活動）、近隣学校との交流

※　今町中学校は申請なし

⑼　不要入れ歯リサイクル（日本ユニセフ協会支援協力事業）

不要の入れ歯等の回収を行いました。市民の皆さんより不要入れ歯等をお寄せいただき、リサイクルによる収益のうち半分を、日本ユニセフ協会を通じて世界の恵まれない子どもへの支援へ、残りの半分の収益を、障がいをお持ちの方の就労支援を実施している「風来人（ネーブルみつけ内）」への助成をはじめ、市内の地域福祉に活用いたしました。

◯回収状況及び収益

	令和４年度	令和３年度	令和２年度
回収入れ歯数	44 個	68 個	38 個
回収による収益金	48,770 円	75,144 円	37,163 円

⑽　バイオディーゼル燃料の活用（就労移行支援事業所通所者支援事業）

障害者福祉サービス事業所みつけワークスで廃食用油を活用し精製されたバイオディーゼル燃料を、当会の小型リフト付バスの燃料として活用いたしました。この事業を通して障害者福祉サービス事業所通所者の工賃安定等の支援につながりました。

◯使用状況

	令和４年度	令和３年度	令和２年度
使　用　量	288ℓ	216 ℓ	288 ℓ

⑾　生活支援サービス（事業使用額　345,141 円）

公的なサービスだけでは対応が難しい日常生活上の困りごと（ゴミ出し、掃除、買い物代行、話し相手など）に対して、地域住民が担い手となりお手伝いする有償の生活支援活動に取り組みました。また、担い手の養成も行いました。

◯活動状況

	令和４年度	令和３年度	令和２年度
延べ利用会員数	130 名	120 名	105 名
活動件数	567 件	705 件	643 件
活動時間	320 時間	388 時間	372 時間

○養成研修開催状況

	令和４年度	令和３年度	令和２年度
開 催 回 数	２回	２回	３回
修　了　者	15 名	15 名	18 名

⑿　地域の居場所づくり事業（事業使用額　776,789 円）

住民誰もが気軽に集える居場所として「まちの縁側・ほんまち」を運営し、住民同士の新たなつながりや助け合い・支え合いができる拠点づくりを目的に事業を実施しました。

○開設状況

	令和４年度	令和３年度	令和２年度
開設日数	90 日	91 日	79 日
利用者数	260 人	288 人	188 人
ボランティア数	186 人	173 人	192 人

※　新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い休館措置や時間を短縮して開設しました。

⒀　相談援助実習の受入

福祉分野における担い手を目指す学生等の学びの受け皿として、社会福祉士資格取得に向けた実習の受け入れを行いました。

○学生の受け入れ

	令和４年度	令和３年度	令和２年度
受け入れ人数	４名	３名	なし

⒁　歳末見舞い事業（事業使用額　906,130 円）

歳末たすけあい募金の配分金を用いて、75 歳以上のひとり暮らし高齢者を対象に、見守りも兼ねて見舞品を贈呈しました。

○見舞品の支給（1,000 円相当の品）

	令和４年度	令和３年度	令和２年度
見舞品支給件数	796 件	784 件	755 件

⒂　24 時間テレビ「愛は地球を救う」チャリティ・キャンペーン

社会福祉施設及びボランティアグループなどへ福祉車両等を寄贈し、福祉の充実を図るとともに、国内の災害ならびに開発途上国への医療・食糧等の援助、また地球環境保護支援を目的に実施されるチャリティ募金の実施に協力しました。実施にあたっては、３年ぶりに見附市青少年ボランティアバンクに登録されている市内在住の学生ボランティア４名の参加を得て、令和４年８月 27 日（土）・28 日（日）２日間にわたってウオロク見附店前を会場に募金活動を実施しました。

○募金額

	令和４年度	令和３年度	令和２年度
募金実績額	431,264 円	215,747 円	185,849 円

⒃　紙おむつ券給付事業（市受託事業　事業使用額　17,275,901 円）

経済的な負担軽減を図ることを目的に、在宅生活者のうち、常時紙おむつを使用している要介護認定を受けた方や障害をお持ちの方に対し、紙おむつ券を 957 名に給付しました。

○給付者数

	令和４年度	令和３年度	令和２年度
要介護１・２（年額 10,000 円支給）	558 名	559 名	551 名
要介護３～５（年額 24,000 円支給）	368 名	375 名	391 名
障害者　　（年額 20,000 円支給）	31 名	29 名	26 名

⑰　介護支援ボランティア（市受託事業　事業使用額　79,220 円）

高齢者の社会参加や地域貢献、そして、自身の健康増進や介護予防を図ることを目的に、介護保険第１号被保険者の方を対象に、介護施設等でのボランティア活動に対してポイントを付与する介護支援ボランティア制度の管理運営を行いました。

〇ボランティア登録等

	令和４年度	令和３年度	令和２年度
延べ登録人数	87 名	87 名	87 名
活 動 時 間	0 時間	28 時間	73 時間

※　新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い介護施設におけるボランティア受付ができない状況にあります。

⑱　生活支援体制整備事業（市受託事業　事業使用額　2,347,442 円）

高齢者が住み慣れた地域で生きがいを持って生活を送ることができるよう、生活支援コーディネーターを中心に、多様な主体から参画いただく生活支援体制整備推進協議会のメンバーと連携・協働し、各地域における高齢者の生活支援・介護予防の充実に向け取り組みを進めました。

平成 29 年度の事業開始当初から、見附市から事業を受託し、生活支援コーディネーター業務及び生活支援体制整備推進協議会の運営を担ってきましたが、令和４年度をもって、事業委託終了となりました。令和５年度からは、見附市が事業実施することとなっています。

〇生活支援体制整備推進協議会の開催

	令和４年度	令和３年度	令和２年度
開 催 状 況	２回（９、３月）	２回（９、３月）	２回（９、３月）

※　令和２年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から書面送付のみとしました。

⑲　重層的支援体制整備事業への移行準備事業（市受託事業　事業使用額　250,000 円）

新たな取り組みとして、令和４年度から、地域共生社会の実現に向けた重層的支援体制整備事業への移行準備事業を事業受託し、対象者の属性を問わない相談支援、多様な参加支援、地域づくりに向けた包括的相談支援体制の整備に努めました。初年度の取り組みとしては、相談支援機関向けの事業説明会や重層的支援会議（模擬会議）の実施を通して、支援関係者間での取り組みの共有を図りました。

⑳　地域活動支援センター事業（市受託事業　事業使用額　6,495,121 円）

障がいによって就労などが難しい方の日中の居場所として、創作的活動や社会との交流促進の機会を提供することで、事業利用者の自立生活の推進及び社会参加を図ることを目的に事業を実施しました。

〇登録及び利用状況

	令和４年度	令和３年度	令和２年度
延べ登録者数	116 名	112 名	110 名
利 用 者 数	1,719 名	1,590 名	1,645 名

４．各種相談支援

⑴　日常生活自立支援事業

認知症や知的障害、精神障害などを理由に判断能力が十分でない方のうち、日常生活上で必要となる福祉サービスの利用手続きや利用料の支払い等において不安のある方に対し、福祉サービスの利用援助を中心に、必要に応じて金銭管理サービスや書類等の預かりサービスの提供も含め、利用者の地域での生活を支援しました。

○利用状況

	令和４年度	令和３年度	令和２年度
利 用 者 数	０名	０名	１名
相 談 件 数	13 件	14 件	８件
生活支援員実働者数	０名	０名	１名

⑵　貸付制度の運営

低所得世帯をはじめ、高齢者世帯や障害者世帯を対象に相談援助活動を行い、新潟県社会福祉協議会が実施する生活福祉資金貸付の受付窓口としての機能を果たすとともに、生活保護の申請者のうち保護受給が見込まれる方を対象に、保護費初回給付までの援護を目的として資金貸付を実施しました。

また、新型コロナウイルス感染症の影響による減収や失業等により生活に困窮し、生活の維持が困難となっている世帯を対象とした特例貸付の相談・受付窓口としての機能も果たしました。

○生活福祉資金貸付の実績

	令和４年度	令和３年度	令和２年度
教育支援資金	なし	２件 439,000 円	なし

○たすけあい資金貸付の実績（貸付額上限１万円　無利子）

	令和４年度	令和３年度	令和２年度
たすけあい資金	２件 20,000 円	なし	４件 40,000 円

○新型コロナウイルス特例貸付の実績

	令和４年度	令和３年度	令和２年度
緊急小口資金	２件 300,000 円	31 件 4,600,000 円	67 件 11,400,000 円
総合支援資金	２件 1,050,000 円	26 件 10,384,000 円	15 件 6,504,000 円

※新型コロナウイルス特例貸付は令和４年９月末で終了しました。

⑶　くらしの自立支援センターみつけの運営（市受託事業　事業使用額　9,242,031 円）

生活困窮者が抱える複合的な課題に対し、包括的な相談支援を行い、個々の生活困窮者の状況に応じ、居住、就労、家計等の相談援助に努めました。また、生活困窮者の支援に限らず広く相談を受け付け、案件に応じた情報提供や相談窓口・福祉関係者等へのつなぎも行いました。

○相談受付状況

	令和４年度	令和３年度	令和２年度
相 談 件 数	77 件	59 件	88 件
相 談 時 間	228 時間	255 時間	416 時間

○相談内容

令和４年度					
健　康	18 件	就　職	13 件	ひきこもり	２件
住まい	３件	就　労	６件	Ｄ Ｖ	０件
生活費	46 件	地　域	０件	食　糧	３件
家　賃	12 件	家　族	14 件	その他	14 件
公租公課	11 件	子育て	０件	合　計	158 件
債　務	13 件	介　護	３件		

○支援状況

事業名	令和４年度	令和３年度	令和２年度
自立相談支援事業（就労支援）	６件	10 件	21 件
家計改善支援事業	０件	３件	３件
就労準備支援事業	０件	０件	１件
住居確保給付金	０件	０件	４件
合　計	６件	13 件	29 件

○生活困窮者支援調整会議の開催

	令和４年度	令和３年度	令和２年度
開 催 状 況	３回（８、12、３月）	３回（８、12、３月）	５回（6、7、8、12、3月）

５．援護事業

⑴　災害見舞金給付事業

火災及び雪害による被害を受けた世帯に対し、御見舞金を支給しました。

○見舞世帯数

	令和４年度	令和３年度	令和２年度
家 屋 全 焼	１世帯(10,000 円)	２世帯(20,000 円)	２世帯(20,000 円)
家 屋 半 焼	なし	なし	１世帯(5,000 円)

⑵　法外援護

旅費として、ＪＲ見附駅から長岡方面（長岡駅まで）もしくは新潟方面（東三条駅まで）へのＪＲ回数券を支給しました。なお、ＪＲ回数券が販売終了したため、令和４年度をもって、事業は終了しました。

○支給人数

	令和４年度	令和３年度	令和２年度
支 給 人 数	４名	２名	１名

６．各福祉団体との連携協調

⑴　見附市民生委員児童委員連絡協議会との連携協調

見附市民生委員児童委員連絡協議会の活動に対して助成を行うと共に、下記の事項を中心に協力依頼し、見附市民生委員児童委員連絡協議会との連携協調に努めました。

○見附市社会福祉協議会実施の各種事業に対する協力依頼

○生活福祉資金貸付世帯に対する生活指導

○共同募金（法人・大口）の協力依頼

⑵　福祉関係団体の自主的活動への運営協力

①　事務局運営を中心とする運営協力

見附市母子福祉会の活動に助成を行い事務局としてその運営に協力すると共に、見附市老人クラブ連合会の事務局として運営に協力しました。

②　福祉関係団体の自主的活動への助成の実施

保育事業研究会の活動に対して助成を行いました。

7．介護事業等の運営

⑴　介護保険制度に基づく事業

介護保険制度に基づき訪問介護サービスを提供しました。訪問介護員が自宅を訪問し、介護計画などに基づき身体介護（入浴・排泄・食事等）や生活援助（調理・洗濯等）の訪問介護サービスを提供し、家庭での生活を支援しました。なお、訪問介護事業については、令和４年度をもって、終了しました。

○利用者数

	令和５年３月	令和４年３月	令和３年３月
事業対象者・要支援サービス利用者	０名	22 名	28 名
要介護サービス利用者	０名	26 名	36 名

⑵　障害福祉サービス事業

障害者総合支援法に基づき、障害をお持ちの方の生活を支援するために居宅介護、重度訪問介護、同行援護、行動援護、移動支援、生活サポート等の障害福祉サービスを提供しました。なお、障害福祉サービス事業については、令和４年度をもって、終了しました。

○利用者数

	令和５年３月	令和４年３月	令和３年３月
サービス利用者	０名	10 名	12 名

8．地域保育園の運営（市指定管理事業　117,601,264 円）

見附市の指定管理制度に基づき、社会福祉法人人と緑の大地と共同で和楽保育園（田井町）、漆山保育園（漆山町）、反田保育園（反田町）、坂井保育園（坂井町）の運営を担いました。保育園と家庭、そして地域が連携し、心身ともに健やかな子どもの成長を育むことを目的に日々保育に努めました。

○主な催し物

入園式、こどもの日お楽しみ会、七夕まつり、遊戯発表会、作品展示会、芋掘り、鏡開き、新年お楽しみ会、豆まき、ひな祭り会、卒園式　など

※　催し物の呼称は各園により異なります。

○園児数（令和５年３月）

	未満児	年少児	年中児	年長児	令和４年度	令和３年度	令和２年度
和　楽	６名	３名	１名	５名	15 名	20 名	20 名
漆　山	11 名	４名	12 名	14 名	41 名	42 名	40 名
反　田	３名	３名	９名	９名	24 名	28 名	32 名
坂　井	２名	４名	０名	２名	８名	17 名	18 名
合　計	22 名	14 名	22 名	30 名	88 名	107 名	110 名

○延べ園児数

	令和４年度		
	未満児	以上児	合計
和　楽	66 名	110 名	176 名
漆　山	135 名	354 名	489 名
反　田	29 名	252 名	281 名
坂　井	39 名	76 名	115 名
合　計	269 名	792 名	1,061 名

※　以上児とは年少、年中、年長を合わせた区分です。

9．会員会費制度・赤い羽根共同募金運動

会員会費制度については、各種福祉サービス・事業の貴重な自主財源となることから、例年に準じて市民の皆様からご協力をいただき、住民が主体的に取り組む福祉活動をはじめ、各種社会福祉事業の財源として使用しました。

赤い羽根共同募金運動の配分金は各種福祉サービス・事業の貴重な自主財源となることから、例年に準じて広く運動を展開しました。令和４年度も新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、法人・大口募金においては振込用紙を活用した方法と例年に準じ民生委員児童委員に訪問していただく方法を組み合わせて実施しました。

赤い羽根募金は新潟県共同募金会を経由し、配分計画に基づいて令和５年度に配分されます。歳末募金は令和４年度の歳末見舞い事業の財源を中心として使用されます。

また、赤い羽根共同募金運動における新潟県独自の試みとして、令和５年１月１日から令和５年３月31 日までの３ヶ月間を運動期間とする「あったか雪募金」を行いました。ご協力をいただいた募金は、令和５年度に実施される克雪対策事業の財源として配分されます。

⑴　会員会費制度

○収納状況　（単位：円）

	令和４年度	令和３年度	令和２年度
会費収納額	3,350,479 円	3,362,745 円	3,460,721 円

⑵　赤い羽根募金、歳末たすけあい募金

○結果一覧表　（単位：円　%）

		令和４年度実績	令和３年度実績	前年比 金額	前年比 率	備考
赤い羽根共同募金運動	戸別募金	3,367,334	3,470,640	△103,306	97.0	
	法人・大口募金	991,870	1,045,709	△53,839	94.8	
	職域募金	193,414	184,146	9,268	105.0	市役所、関係機関
	学校募金	273,069	289,108	△16,039	94.4	学校、保育園、幼稚園
	その他	144,088	182,117	△38,029	79.1	老人クラブ、募金箱
	歳末募金	2,376,296	2,413,604	△37,308	98.4	
募金総額		7,346,071	7,585,324	△239,253	96.8	

○目標に対する比較増減　（単位：円　%）

募金種類	令和４年度募金目標額	令和４年度募金実績額	比較	達成率
赤い羽根募金	6,432,000	4,969,775	△1,462,225	77.2%
歳末たすけあい募金	2,400,000	2,376,296	△23,704	99.0%

⑶　あったか雪募金結果

見附市におきましては、市内法人・事業所様を中心に募金活動へのご協力をお願いして参りました。

○収納状況　（単位：円）

	令和４年度	令和３年度	令和２年度
募金総額	116,545	134,268	144,913

10. その他

⑴ 第 72 回新潟県民福祉大会への参加

○開催状況　　※　新型コロナウイルス感染症の影響で１日のみの開催。

期日・開催地	内　容
11 月 10 日 長岡市	式典・記念講演　会場：長岡市立劇場 第１部　式典 第２部　記念講演 講師　垣添　忠生　氏（日本対がん協会会長） 演題　「人はがんとどう向き合うか？」 参加者：７名